



(JASDAQ コード 8927)

2019年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社明豊エンタープライズ  
代表者名 代表取締役社長 梅木 隆宏  
(JASDAQ コード 8927)  
問合わせ先 取締役常務執行役員 安田 俊治  
管 理 部 長  
(電話番号 03 - 5434 - 7653)

### 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、関東財務局に提出いたしました2019年7月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではない旨を記載しておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2019年7月10日に当社の中国プロジェクトに係る貸付金等に関する過年度の貸倒引当金の計上に疑義があるという外部からの指摘に対し、調査にあたって客観性・中立性・専門性を確保するため、当社とは利害関係を有しない外部の弁護士及び公認会計士から成る特別調査委員会を設置し調査を行い、2019年9月6日付けで特別調査委員会より、当該中国プロジェクトに係る貸付金債権については2010年7月期の第2四半期に、出資持分の売買代金債権については2010年7月期の第3四半期に、それぞれ債務者の支払い能力を踏まえた貸倒引当金の計上を行う必要があったとの調査結果の報告を受けました。

当該調査結果に基づき、当社の決算・財務プロセスの再評価を行なった結果、当該中国プロジェクトに関連する貸付金等債権に潜在するリスクを識別、分析及び評価する作業において、各種の要因が財務諸表の作成に及ぼす影響について適切に考慮される体制について不備があることを確認し、これらの不備は財務報告に重要な影響を及ぼしており、重要な不備に該当すると判断いたしました。

#### 2. 連結会計年度末日までに訂正できなかった理由

上記の開示すべき重要な不備につきましては、当連結会計年度の末日後に認識したため、当連結会計年度の末日においては是正が完了しておりませんでした。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社といたしましては、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するために、調査報告書の提言を真摯に受け止め、再発防止策を策定し、財務報告に係る内部統制の不備の改善を図ってまいります。

#### 4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、第51期(2019年7月期)有価証券報告書に反映しており、当該連結財務諸表に与える影響はありません。

#### 5. 連結財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上